

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報の公開

研究倫理審査委員会番号	2024b-62
研究課題名	若年性皮膚筋炎における JAK 阻害薬の国内使用状況についての多施設共同研究
研究代表機関	東京都立小児総合医療センター 腎臓・リウマチ膠原病科
研究代表者	赤峰 敬治
研究期間	長崎大学病院長の許可日～2030年3月まで
研究概要	<p>○目的 若年性特発性炎症性筋疾患 (JIIM) は、小児に皮膚や筋、主要臓器の炎症や血管炎が生じる慢性自己免疫性疾患です。そのうち皮膚症状を伴うものを若年性皮膚筋炎 (JDM) といい、JIIM の 90%以上を占めます。JDM の臨床病型は幅広く、特定の筋炎関連抗体や筋炎特異抗体が合併症や予後に関連しています。治療はステロイドやカルシニューリン阻害薬、アザチオプリン、免疫グロブリンなどを用いますが、近年、難治性 JDM に対する JAK 阻害薬の有用性が報告されています。JAK 阻害薬はインターフェロン経路を標的とした薬剤であり、15 文献、61 例の JDM を対象としたレビューでは、筋症状、皮膚症状、間質性肺炎いずれも改善したことを示していますが、日本人を対象とした研究は含まれていません。具体的な JAK 阻害薬として、トファシチニブ、バリシチニブ、ルキソリチニブ、ペフィシチニブ、ウパダシチニブ、フィルゴチニブがあります。国内からは、抗 MDA5 抗体陽性 JDM の 2 例に対しトファシチニブを使用した報告がありますが、他の筋炎関連抗体や筋炎特異抗体を対象とした報告はありません。そこで、本研究では国内の JDM における JAK 阻害薬の使用状況を調査します。</p> <p>○対象 2013 年 8 月から 2024 年 12 月の間に東京都立小児総合医療センターの腎臓・リウマチ膠原病科、または共同研究機関を受診した方。 選択基準をすべて満たし、かつ除外基準のいずれにも該当しない方を本研究の対象者とします。 <選択基準> ①JDM と診断した方。JDM の診断は、発症が 18 歳未満かつ Bohan and Peter classification criteria を満たす方とします。 ※Bohan and Peter classification criteria (1975) 1.上下肢の対称性の近位筋力低下</p>

	<p>2.血清筋原性酵素(CK, アルドローゼ, AST, ALT, LDH)の上昇 3.筋電図で筋原性変化 4.筋病理組織所見 5.皮膚症状(ヘルオトロープ疹またはゴットロン徵候) 1-4のうち1項目以上に加えて5を満たすとき皮膚筋炎とします。 ②上記期間内にJAK阻害薬を内服している、または内服したことがある方。 ③研究参加の同意を得られたもの。ただし、既存情報のみを扱う症例かつ同意取得が困難な症例は、同意がなくても可とする。</p> <p><除外基準></p> <p>①JDMの治療目的以外でJAK阻害薬を内服している方。 ②研究への参加を拒否された方。 ③その他、研究責任者が研究対象者として不適当と判断した方。</p> <p>○方法</p> <p>電子カルテを参照し、後方視的に既存情報(背景情報や臨床検査値、治療内容)を収集し、評価します。他施設とのデータの授受は、仮名加工情報のみ、ファイルにパスワードをかけた状態で、電子メールにて研究者間で授受します。</p> <p>○利用する項目</p> <p>① JAK阻害薬開始前</p> <p>1) 患者背景</p> <p>性別、人種、生年月、JDMの診断年月、診断時の症状と所見(発熱、体重減少、易疲労感、腹痛、関節痛、関節炎、嚥下困難、筋力低下、筋痛、ヘルオトロープ疹、ゴットロン徵候、頬部紅斑、皮膚潰瘍、爪上皮毛細血管異常、浮腫、石灰化、間質性肺炎)、既往症、薬剤使用歴(ステロイド、ステロイドパルス、シクロホスファミド、免疫グロブリン、リツキシマブ、アバタセプト、シクロスボリン、タクロリムス、アザチオプリン、メトレキサート、ミコフェノール酸モフェチル使用の有無)、血漿交換療法の有無、検出されている筋炎特異抗体または筋炎関連抗体、筋炎特異抗体が抗MDA5抗体の場合その抗体価、筋生検実施の有無、有の場合は生検所見(Perifascicular atrophy, MxA発現、毛細血管へのMAC沈着)、Childhood Myositis Assessment Scale(CMAS)</p> <p>② JAK阻害薬による治療開始時</p> <p>1) JAK阻害薬による治療開始年月</p>
--	---

	<p>2) JAK 阻害薬導入理由： 筋炎, 皮膚症状, 石灰化, 間質性肺炎または急速進行性間質性肺炎, 血液検査所見</p> <p>3) JAK 阻害薬の種類, 維持投与量</p> <p>4) 身長, 体重</p> <p>5) 血液検査, 血液生化学検査： 血算, AST, ALT, LDH, CK, フェリチン, アルドラーゼ, CRP, 赤沈, vWF 抗原定量またはvWF活性, Dダイマー, KL-6, 筋炎特異抗体が抗MDA5抗体の場合その抗体価</p> <p>6) 薬剤投与の有無や服薬状況など（ステロイド投与量, その他の免疫抑制剤内服有無）</p> <p>③ JAK 阻害薬による治療開始 2週間後/1/3/6/12/24か月後, それぞれ前後で直近</p> <p>1) 血液検査, 血液生化学検査： 血算, AST, ALT, LDH, CK, フェリチン, アルドラーゼ, CRP, 赤沈, vWF 抗原定量またはvWF活性, Dダイマー, KL-6, 筋炎特異抗体が抗MDA5抗体の場合その抗体価</p> <p>2) 薬剤投与の有無や服薬状況など（ステロイド投与量, その他の免疫抑制剤内服有無）</p> <p>3) 副作用（以下の項目の有無：好中球 500/mm³未満に減少, リンパ球減少 500/mm³未満に減少, Hb 8g/dL未満に減少, 帯状疱疹, 肺炎, 敗血症, 肝機能障害, その他）</p> <p>④ 検査をした場合に収集する項目</p> <p>1) 胸部CT：間質性肺炎の有無</p> <p>2) MRI：筋炎の有無</p> <p>3) CMAS</p> <p>⑤ JAK 阻害薬内服を中止した場合</p> <p>1) 中止年月日</p> <p>2) 中止理由</p>
倫理的配慮・個人情報 の保護の方法について	研究実施に係る試料や情報等を取扱う際は、仮名加工情報に加工した上で適切に管理し、被験者の秘密保護に十分配慮します。特定の個人を識別できないように加工した仮名加工情報を研究代表者のパソコン内にファイルにパスワードをかけた状態で保管します。情報等を研究事務局等の関連機関に送付する場合は匿名化番号を使用し、被験者の個人情報が院外に漏れないよう十分配慮します。また、研究の結果を公表する際は、被験者を特定できる情報を含まないように

	<p>します。研究の目的以外に、研究で得られた被験者の試料等を使用しません。</p> <p>上記の研究に情報を利用することをご了承いただけない場合は、研究の問い合わせ先までご連絡ください。</p>
臨床研究登録の有無	無
結果の公表について	個人情報を消去した上で、集計されたデータのみを国内外の学術集会・学術雑誌などで公表します。
利益相反について	本研究の計画、実施、発表に関して可能性のある利益相反はありません。
資金源について	資金源は研究責任者の所属する診療科の研究研修費で賄います。
共同研究機関	<p><input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有</p> <p>(有の場合)</p> <p>○共同研究機関名およびそれぞれの研究責任者（or 研究代表者）氏名 JHCO 札幌北辰病院 小児科（研究責任者：木澤 敏毅） 東京科学大学 小児科（研究責任者：阿久津 裕子） 順天堂大学医学部附属練馬病院 小児科（研究責任者：山崎 晋） 神奈川県立こども医療センター 感染免疫科（研究責任者：大原 亜沙実） 浜松医科大学 小児科（研究責任者：安岡 竜平） 兵庫県立こども病院 リウマチ科（研究責任者：中岸 保夫） 和歌山県立医科大学 小児科（研究責任者：神波 信次） 県立二葉の里病院 小児科（研究責任者：安村 純子） 九州大学病院 小児科（研究責任者：園田 素史） 長崎大学 小児科（研究責任者：橋本 邦生）</p> <p>(海外に試料・情報を提供する場合)</p> <p>該当なし</p>

長崎大学版情報公開文書 第1.1版（代表施設研究計画書1.1版 様式11対応）

長崎大学における研究 責任者 および 問い合わせ先	長崎大学病院/医歯薬学総合研究科 小児科 助教 橋本邦生 095-819-7460 対応時間：平日9時から17時まで
ご意見、苦情に関する相談窓口（診療・臨床研究の内容に関するものは除く）	長崎大学病院では、患者さんとそのご家族を対象とした相談窓口を設置しております。 長崎大学病院 医療相談室 住所：長崎県 長崎市 坂本1-7-1 電話：095-819-7200 受付時間：月～金 8:30～17:00（祝・祭日除く）